

「市役所建替えは、本当に必要？」市民の声に応えるべきです

市議会・庁舎特別委員会での質問に、執行部は「委託報告書どおりに建替える」の一点張り

専門家(構造建築士)の意見をことごとく否定する「市の見解」

10月10日に開かれた庁舎特別委員会には、2人の構造建築の専門家の意見を踏まえての「市の見解」が出されました。

その内容は斎藤幸雄参考人の意見をことごとく否定する内容でした。

専門家の意見も分かれており、「建替えありき」ではいけません！

市議会・庁舎特別委員会には、8月2日に斎藤幸雄参考人(京都女子大学非常勤講師・元日建設勤務)、8月23日には高橋治参考人(東京理科大学教授)を招致して意見聴取を行いました。

「現庁舎の耐震性に不足はない」という斎藤参考人と、「過去の地震動で被害がないことが将来にわたり被害がないこと

参考人に意見を求めることなく、「市の見解」は一方的に出されたものです。しかも、市の検討の場には構造計算の専門家は入っていません。専門家も交えず、専門家の意見を否定する市のやり方は問題です。

にはつながらない」という高橋参考人との意見があり、専門家の意見も分かれています。

にもかかわらず、「建替えしかない」という見解を繰り返す市の姿勢は問題です。意見が分かれているときは、誰もが納得できるように、検証・検討をより丁寧に行うことこそ必要です。

「建替え」のもともとの理由であった「杭の損傷」は根拠も曖昧

大地震が来れば、市役所地下の杭の50本以上が致命的な損傷を受け、部分的な損傷も90本以上になると報告されています。しかし、どういう地震波でそういう損傷が起こるのか、根拠は示されていません。

「杭の大規模な補強が必要」といいますが、補強の必要性につ

いて根拠・基準も説明されていません。「大地震で杭が損傷するだろう」という曖昧な説明で、400億円も使い建替えるというのはあまりに乱暴です。

「建替えが本当に必要なのか？」
「400億円もかかる建替え、慎重に検討してほしい」という市民の疑問に応えることこそ必要です。

【控室から】
文化の秋

上野 みえこ

10月の連休の1日、熊本市中央区の泰勝寺で、県文化芸術祭の合同茶会が開かれました。年1回、表千家・裏千家・肥後古流など、様々な流派が一堂に会し、建物内やお庭に、いくつもの釜がかけられます。それぞれの流派のこらした趣向を楽しみながら、季節を感じ、おいしいお茶をいただきます。

茶会だけでなく、秋は文化的な催しが多数開催されます。過ごしやすい時期は、演劇や音楽、絵画の鑑賞など、文化行事を楽しむのに一番の季節です。多くの人に文化芸術に触れていただき、心とむ時間を過ごしていただきたいと思います。

一方、10月から消費税が10%に増税されました。何かを節約と思うとき、真っ先に対象となるのが芸術鑑賞などではないでしょうか。残念です。

しかも9月議会には、市内の火の君・天明・富合・植木文化ホールなど、市民のみなさんが地域での文化活動を行うための施設が来年4月から一斉に値上げとなる条例が提案されました。市民の文化芸術を享受する権利を奪うような使用料値上げ、許されません。

すべての市民が心豊かで健康に暮らしていける熊本市にと願って、頑張っていきたいと思っています。



日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1161
2019年10月27日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP: 共産党 熊本市議団



検索



大切な市民の税金、暮らし・福祉・教育の充実に使って！

「平和と民主主義・暮らしをまもる熊本市民連絡会」が 2020 年度予算編成にあたっての要求交渉を行いました



10月8日、「平和と民主主義・暮らしをまもる熊本市民連絡会」は、熊本市の2020年度予算編成にあたっての要求交渉を行いました。党市議団も参加し、熊本地震復興・医療・福祉・子育て・教育など各項目について市の回答を聞き、参加者から意見を述べました。

【参加者からの意見】

- ・子ども医療費助成は、対象年齢拡充とともに、小さな子どもを持つ親の負担が増え大変。完全無料を実現してほしい。
- ・さくらカードIC化によって、障がい者にとってはチャージができないなど不便となり、作業所に一人で通えなくなった。無料のおでかけパス券の復活を！
- ・生活保護の住宅扶助費が31100円（単身世帯）と荒尾市35000円より低いことに納得がいかない。地震後、安価な家賃の物件も少なく、住宅扶助を拡充すべき。

- ・国民健康保険料の負担が大変。払える金額に引き下げを。
- ・市営住宅の畳替えなど計画修繕が遅れている。24時間生活している市営住宅の住環境整備をしてほしい。
- ・少人数学級を全ての学年で実施してほしい。読み聞かせに行っているが、少人数の方がやりやすい。
- ・震災で被災した住宅修繕や地元中小企業の雇用につながる住宅リフォーム助成制度を実施してほしい。
- ・市役所建て替えについては早急に結論を出すのではなく、住民の合意ですすめてほしい。

～ 要望した内容 ～

- 【熊本地震の復旧・復興】被災者への医療費減免復活／生活再建支援金はじめ支援制度の充実／仮設住宅の入居延長を希望する全ての被災者に認めること。
- 【医療】子ども医療費助成制度の完全無料化／後期高齢者医療保険料の負担軽減／ガン検診無料化
- 【介護】介護保険料の軽減／特別養護老人ホームの待機者解消
- 【さくらカード】高齢者の現行制度維持／障がい者の無料パス券復活
- 【生活保護】住宅扶助費引上げ／エアコン設置助成の拡充
- 【保育】保育士の増員／幼児教育・保育の無償化については、食材費を含め、完全無償化とすること
- 【国民健康保険】一般会計繰り入れを増額と保険料引き下げ／18歳以下の保険料免除
- 【市営住宅】畳替えなど計画修繕の早期実施と老朽化した団地の改修／高齢者・障がい者へのバリアフリー改修
- 【地域経済活性化】住宅リフォーム助成制度の実施など
- 【市役所建替え】住民の合意のもとで進めること
- 【教育】少人数学級を小中学校全学年へ／トイレの洋式化／学校給食の無償化／就学援助の拡充
- 【公園】トイレの清掃など衛生面の改善／洋式化

